

市政の？を問いました

# 質疑・大綱質疑

3月定例会では、全6会派が質疑・大綱質疑を行いました。



## 施政方針について

**問** 市内企業の連携を進め、特許の取得を視野に入れた知的財産戦略とは？

**答** リアル開発ラボでの製品開発等を通じて知的財産の重要性、製品群全体あるいはビジネスモデル、ビジネススキーム全般、2つの取り組み戦略を同時に三条全体の知的財産戦略として取り組む。

**問** バイオマス発電事業が平成29年度から開始される見込み。どの程度の雇用創出につながるのか？

**答** 平成29年度の発電所の稼働で15人、平成31年度までに60人の雇用を目指している。

**問** 体育文化センターおよび総合体育館改築に当たり、各種大会等の運営やスポーツ振興への支障はどうか？

**答** 関係団体からご理解とご協力を頂きながら、利用調整させていただきます。

**問** 小中一貫教育の推進に係る総合調整を担う統括校長は、どのように決定されるのか？

**答** 中学校区の小中学校校長の中から適任者を教育長が指名し、教育委員会が任命する。

**問** 大雪被害軽減に向けた体制確立の在り方を検討する防災会議では、どのように現場の声を集約するのか？

**答** 関係団体の平均は、平成25年度の状況で89・5%と比較した場合高い状況にある。

**問** 平成28年度の見込みは95・9%である。合併算定替えの最終年度の平成32年度では98・1%となり、その後は緩やかに下降していくものと見込んでいる。

**答** 類似団体の平均は、平成25年度の状況で89・5%と比較した場合高い状況にある。

**議第7号** 施政方針の中で、人口減少に対応した効率的な污水处理施設の整備構想を策定するため、污水处理施設整備構想検討委員会を設けるとあるが、これは公共下水道事業全体計画1776ヘクタール、事業認可区域290ヘクタールの変更に視野に入れたものなのか？

**答** 下水道整備に係る検討委員会の設置については、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業および農業集落排水事業の汚水の集合処理区域と合併浄化槽による個別処理区域の見直しや集合処理の効果的な整備の在り方など、整備区域の変更も視野に入れた検討を行うものである。

**議第24号** 国保の運営主体が県に移行後の各町村ごとの状況により設定されるのか？

**答** 平成28年1月18日付で国から示された財政運営、国民健康保険

**問** 水害対応や原発事故対応などの地域防災計画策定のプロセスと同様、原案を提示し、各分野に精通した委員から広く丁寧な意見を聞く。

**答** 実学系もつくり大学の検討委員会の構成は、どうなるのか。地域が求める人材の観点から商工会議所や工業会等、大学教育の観点から学識経験者、進学者側の観点から教育関係者の7名を想定。

**問** 優れた提案を行った民間事業者に余剰スペースを貸し付けるとは、どのような取り組みか？

**答** 市民の利便性の向上や地域のにぎわい創出などにつながる収益事業を実施していただきながら、市民満足度の向上と新しい賃料収入による歳入確保を図りたい。複合化施設でも貸し付けを前提とした設計を行いたい。

**問** 体育文化センターの利用中止、三条小学校の閉校などを「過去からの脱却」と表現し、「昨年はこれまで連続と紡がれてきた歴史」に区切りをつけた節目の年と述べた。どのような意図か？

**答** 8年間の総合計画の始まりの年であり、ソフト、ハードの両面にわたって時代の転換点であったことを捉えて発言した。

**問** 1月の大雪を踏まえ、体制確立の検討が言われた。現在の防災計画には積雪期に対する記載がある。この計画に照らして今回はどう

**答** 国保の基盤強化として国から財政投入が行われた。予算ベースからすれば、今までと同様の一般会計からの繰入額で赤字解消が可能ではないか。

**問** 国保基盤の強化目的で拡充が図られたが、被保険者減少の中で、医療給付費が年々増加している現状では、なお税率の引き上げが必要。

**議第41号および議第42号** 嵐南小・第一中のプールの設計に瑕疵があるというのは、誰が言い出したのか。教育委員会なのか請負業者なのか？

**答** 32万円余りをかけて作成された文書や石本建築事務所の反論の内容は公開できないということだが、それでは判断することができない。議会軽視ではないか。

**問** 改修工事は、当初施工業者と異なる業者にやらせてはどうか？

**答** 発注者である市がプールに係る基本設計と実施設計業務委託契約等における債務不履行があったものと考えた。

**問** プールの不具合の詳細については、調停に関わる内容となることから差し控えていただきたい。

**答** 施工業者については、体育館棟を請け負った企業体の代表である水倉組から工事を行ってもらう。

**問** 防災計画の積雪期における防災予防対策は、降雪期までの除雪計画作成などが中心だった。今後は、日常の除雪対応から災害対応に切り替えるタイミングの基準等について防災会議の場で議論を重ねたい。

**問** 三条小学校の裏館小学校への吸収統合について、三条小学校がこれまで担ってきた通級指導教室をどのように移すのか？

**答** 現在三条市には、三条小学校内に発達障がい1室・言語障がい2室・難聴1室の計4室。そして下田地域の長沢小学校内に発達障がい1室を設置している。遠く通えない児童がいる課題がある中、検討してきた。

**問** 裏館小学校に言語障がい・難聴の2室、一ノ木戸小学校に発達障がい・言語障がい2室を設置する。

**問** 本成寺地区の児童の対応として、栄庁舎教育センターにも保護者のニーズに応じて発達障がい・言語障がいの2教室をサテライトとして設置したい。

**問** 下田地域において、現在、長沢小学校に発達障がい1室を設置しているが、言語障がい通級が困難な児童もいることから、大崎地区も含めて今後検討していきたい。

**問** 三条小学校の統合に際して、裏館小学校以外の別の小学校に転校を希望する手だてはあるか？

**答** 保護者が別の小学校に転校を希望する場合、三条市学区外就学

**問** 1点目に、損害賠償請求先は設計業者となっているが、原因の究明はできていないと聞いている。故障の原因は施工業者ではなく、設計業者であると確定したのか？

**答** 2点目に、故障箇所は床部分ばかりでなく、昇降装置や駆動装置も故障したのか。

**答** 3点目に、業者の瑕疵担保責任は問えないのか。

**答** 4点目に、三条市では可動床のプールは初めての導入である。従来型の固定されたプールとは違い使用上の留意点などがあつたのではないかと。当初、設計業者から説明等はなかつたのか。

**答** 5点目に、90センチの深さで固定。その後現状復帰し可動床に戻すということか。安全性には問題ないのか。修理の見直し計画についてはどうか。

**答** 6点目に、係争中であり相手方とのやりとりは非公開というが、こちらの要求に応じられない理由は何か。

**答** あくまでもプールに係る基本設計、実施設計業務委託契約、工事監理業務委託契約における債務不履行があつたものと考えている。

**答** 可動床使用の留意点等については、調停に関わる内容であるため控えさせていただきます。



**議第1号** 経常収支比率の今後の見通しと類似都市との比較について。

**問** 平成28年度施政方針では、当分の間は財源不足を財政調整基金で賄う財政運営が続くものと想定されるとしておりますが、一方で多くの建設事業について検討や実施をしていくとされ、理科教育センターの設置、大崎中学校区小中一体校の建設、三条小学校の跡地活用、嵐南保育所、旭・裏館統合保育所の建設、工業団地の造成、最終処分場の建設、ものづくり大学と看護系高等学校教育機関の開設、体育文化センターと総合体育館の改築の施設整備の方針が示されている。

**問** これらの建設事業の概算総額、これに必要な一般財源はどのくらいを見込んでいるのか。また、将来的に三条市の財政運営は大丈夫なのか。

**答** 概算事業費は総額296億円程度、建設時の一般財源が約33億円と試算している。将来の財政運営については、経常収支比率、実質公債費比率、財政調整基金残高に目配りしつつ、財政シミュレーションを行っており、その試算によればある程度しっかりとした財政運営を維持することができると思込んでいる。

**議第24号** 国保の運営主体が県に移行後の各町村ごとの状況により設定されるのか？

**答** 平成28年1月18日付で国から示された財政運営、国民健康保険

5